



タンチョウに餌やりをして、スタンプゲットだね



タンチョウアイスを食べて暑さを吹き飛ばそう

タンチョウと触れ合って謎を解き明かそう

きびじつるの里オープン 20周年記念イベント

7月22日、きびじつるの里のオープン20周年を記念して、周遊型イベント「ときあかせ！タンチョウのひみつ大冒険」が同施設で開催されました。

同イベントには親子連れ約200人が参加。参加者は、タンチョウにまつわるクイズに答えてスタンプを集めるクイズラリーや、羽ペンを使った写生などに挑戦し、楽しいひとときを過ごしていました。また、全てのミッションをクリアした参加者には、タンチョウの姿を模したアイスクリームがプレゼントされました。



清水選手 勇気と感動をありがとう

ボクシングパブリックビューイング

7月25日、昭和地区出身のプロボクサーで、ロンドン五輪銅メダリストの清水聡選手が、世界タイトル戦に挑戦。同日、昭和公民館で開催されたパブリックビューイングには、地域住民や高校の後輩など約100人が詰めかけ、地元から東京の試合会場まで届けとばかりに、大きな声援を送りました。結果は、残念ながら敗れましたが、清水選手の世界王者への挑戦に勇気と感動をもらった来場者は、温かい拍手を送っていました。



昭和地区の児童・園児らが制作した応援小旗を手に、地元のヒーローの奮闘にエールを送る来場者

ミニフォト

交通安全の意識を高めて



熱心に話を聞く通学中の高校生

自転車に乗る人のヘルメット着用が努力義務化されたことを受け、7月13日、総社駅前ロータリーで啓発活動が行われました。市職員が、ヘルメット着用を呼び掛けるチラシや啓発グッズを配布し、交通安全を呼び掛けました。

静寂の中で精神を統一



姿勢を整え、心を静める

8月1日から5日にかけて、井山宝福寺で暁天座禅が行われました。初日は33人が参加。午前5時から2時間、参加者らは早朝の澄んだ空気の中、静まり返った境内で座禅を組み、自分と向き合っていました。

郷土の偉人について学ぼう



精神を集中させて筆を走らせる

8月2日、水墨画家・雪舟が幼少期を過ごした井山宝福寺で、雪舟体験学習が開催されました。市内の小学生約20人が参加。子どもたちは、座禅や写仏、読経などを体験し、雪舟に思いをはせていました。

記憶と教訓のバトンをつないでいく

あの時を忘れない～後世に語り継ぐ～

8月1日、市民会館で平成30年7月豪雨災害の記憶を語り継ぐ災害復興イベントが開催され、市内の高校生・中学生約900人が会場に集まりました。

イベントでは、人命救助やペット避難所の運営、当時の高校生ボランティア、被災地の代表者などさまざまな立場で災害を経験した7人が、体験談や次世代へ伝えたい思いを講演。高校生らは、真剣なまなざしで聴き入っていました。

その後行われたパネルディスカッションでは、高校生らが自らの5年前の記憶を語り合い、もし災害が起きたら今の自分たちに何ができるかなど意見を発表。防災を自分ごととして受け止め、考えを巡らせていました。



① 高校生の進行で防災をテーマとしたディスカッションやワークが行われた

②③ 5年前高校生だった2人が、ボランティア活動を通じて得た気付きや学びを後輩たちに伝えた



明らかになった新事実を初公開

ここまでわかった！こうもり塚古墳

8月5日、総社吉備路文化館で企画展が始まり、こうもり塚古墳に関する最新の調査成果が、本市で初公開されました。会場では、古墳から発掘された環頭大刀柄頭や陶棺、土器などの出土品79点を展示しています。

初日は、調査により新たに判明した築造時期や被葬者像などについて、学芸員が説明。来場者らは興味深げに観覧し、太古の暮らしを想像していました。

企画展は、9月3日(日)まで開催します。



① 展示に見入る子どもたち。② オープニングセレモニーには、古代の王様に扮したチュッピーが登場。出土品をモデルに作られた刀を使って、テーブルカットを行った

